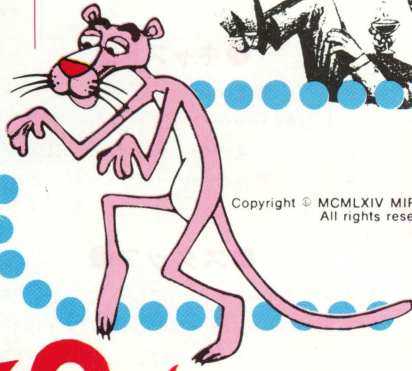


ピーター・セラーズ／クリストファー・プラマー／カトリーヌ・シエル
 製作・監督ブレイク・エドワーズ／脚本フランク・ウォルドマン／音楽ヘンリー・マンシーニ
 ヘカラー作品
 サントラ盤/RCAレコード

また盗まれた
 世界一のダイヤヤペンク・パンサーン
 そして、またまた登場
 ご存知、世界一の迷警部クルーゾー!

私、ダイヤ探すひと—あなた、笑いころげて死ぬひと—
 全米を大爆笑の渦に巻きこんだ100万カラットの大喜劇!



Copyright © MCMLXIV MIRISCH GEOFFREY.
 All rights reserved.

"the RETURN of the
 Pink Panther"

ピンク・パンサー 2

United Artists ユナイテッド映画
 Entertainment from Transamerica Corporation

■全米を席捲して大ヒット!

75年5月21日、ニューヨークを皮切りにスタートするや、たちまち北米全域を揺るがした笑激波。火災パニックや鯨パニックの挾撃をもとせず、この夏空前の興行パワー(10/1現在、合衆国だけで120億円)を発揮したのがこの「ピンク・パンサー2」。

「素晴らしいスラプスティックの金字塔」

——〔ニューヨーク・タイムズ〕

「今年一番オカシな映画と共に還ってきたピーター・セラーズ!」 ——〔ニューヨーク・デイリー・ニュース〕

「煩わしい現実からの愉快な逃避」

——〔ロサンゼルス・タイムズ〕

「スペクタクルな連続ギャグ!」

——〔ニュースウィーク〕

「シリーズ最高の出来」

——〔タイム〕

めったにホメないタイムやニュースウィークを始め、米一級マスコミをノックアウトした傑作コメディとは!?

■栄光の「ピンクの脳細胞」

ホームズ、ポアロ、アーチャー、マロー——スクリーンを闊歩する名探偵数々あれど、智力(痴力?), 行動力, そして大胆極まりない推理力において到底この人物を外すことは出来ない。「ピンクの脳細胞」をケイレンさせて、あまたの難事件を解決してきたご存知パリ警視庁の名物男ジャック・クルーゾー警部。第一作「ピンクの豹」、第二作「暗闇でドッキリ」に続き、アメリカ映画の異オブレック・エドワーズ監督とイギリスの名コメディアン、ピーター・セラーズが仕掛けた純製ハリウッド・ギャグ、パロディ・ギャグのつるべ撃ち。これはリッチな笑いに溢れた近年稀な爆笑超大作である。

■豪華なスタッフ、キャスト

主演セラーズの怪演に加えてシリーズのレギュラー、ハーバ



Copyright © MCMXLIV MIRISCH-GEOFFREY. All rights reserved.

ート・ロムがクルーゾーの不条理な行動に神経を逆撫でされるドレフュス署長を好演。そして怪盗ファントムに「らせん階段」のクリストファー・プラマー、その妻に「ダブル」の新星カトリーヌ・シェルが色を添える。マラケシュ、カサブランカ、ニース、グシュタート(スイス)とカラフルなロケ撮影を担当したのは「キャバレー」「オリエンタル急行殺人事件」の名手ジョフリー・アンズワース。音楽は第一作以来のヘンリー・マンシーニで、得意の中東調でムードを盛り上げている。

そしてシリーズ成功の功労者がもう一人。タイトル・アニメを担当したリチャード・ウィリアムスだ。ディズニーの伝統を踏み、ピカソにも比肩されるこのイギリスの鬼才アニメーターの仕事にご注目。

■世界一のダイヤ「ピンク・パンサー」

ここ中近東はルガシュ国立博物館。観光客たちが息を詰めて見つめているのは世界一のダイヤモンド「ピンク・パンサー」。その宗教的いわれと算出不可能な価値を重々しく説明するガイド。その妖しい輝きに人々は魂も奪われんばかり。試みにガイドが指をソツと宝石に近づけた。突然、巨大な鋼鉄製ドアが部屋全体をロック。その場の一同は今更ながら「P・P」を盗み出すことがいかに困難かをその目で確かめたのだった。

ところがその夜、黒い影が一個、いとも鮮やかな身のこなしで博物館に忍び込んだ。ケーブルとクロスボーを駆使し、堅牢な障害をまんまと突破。「P・P」をワシ掴みにした影は警備陣の驚愕を尻目に何処へともなく消えていった……。

みゆき座 (上映時間 1時間52分)



〈カラー作品〉

ピンク・パンサー2

ジュエル・プロ/ピムリコ・フィルム作品 ユナイト映画 United Artists Entertainment Film International Corporation

●キャスト●

クルーゾー警部……………ピーター・セラーズ
リットン卿……………クリストファー・プラマー
クロードィーヌ……………カトリーヌ・シェル
ドレフュス署長……………ハーバート・ロム
シャーキ大佐……………ピーター・アーン

●スタッフ●

製作・監督……………ブレック・エドワーズ
脚 本……………フランク・ウォルドマン
”……………ブレック・エドワーズ
音 楽……………ヘンリー・マンシーニ
撮 影……………ジョフリー・アンズワース
アニメーション……………リチャード・ウィリアムス

＊正月爆笑のロードショー!

日比谷 みゆき座 (591) 5357